

圏域名	阪神圏域(阪神南)
日時	令和2年2月25日(火)13:15~14:40
場所	芦屋市医師会医療センター
司会	議長:西宮市医師会長 大江 与喜子
出席者	別紙出席者名簿のとおり ・欠席・高委員、合志委員、吉田委員、市川委員、藤井委員、安達委員、小山委員
議事次第概要	1. 県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画の報告 2. 公立公的医療機関の再検証要請について 3. 重点支援区域の申請について 4. 阪神圏域地域医療構想調整会議(案)の設置について 5. 兵庫県医師確保計画及び外来医療計画について(報告)
内容	<p>○議題1について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-1~1-3に沿って病院局より報告。</li> <li>・修正を行うべき意見はなし。(主な意見は資料1-1のとおり。)</li> </ul> <p>※報告後、意見・質問等はなし。</p> <p>○議題2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-3に沿って、報告。</li> <li>・兵庫中央病院の特色として、セーフティネット系医療を担っている。</li> </ul> <p>→神経難病医療ネットワーク拠点病院、筋ジストロフィー病棟・重症心身障害児者病棟・結核病棟を有する病院、エイズ拠点病院)が特色。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の病床は、450床+結核病床50床。</li> <li>・今回の国の分析では、セーフティネット系医療は診療実績の対象になっておらず、診療実績のない分野での実績が対象になっていたため、「実績がない」と判断されてしまった。</li> <li>・現状:急性期機能100床、慢性期機能350床。将来的には、急性期50床、回復期50床、慢性期350床へ。(セーフティ系医療と一体的に運営している急性期機能を少なくとも1個病棟(50床)を残したい。)</li> </ul> <p>(協議の結論) 今回、病院からの報告を聞き、阪神南としては了承。これをスタート地点とし、今後整合性を持って変化しながら対応して欲しい、という意見が出た。</p> <p>○議題3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3-2に沿って、伊丹市より報告。(市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院の統合再編状況の報告及び重点支援区域申請について)</li> </ul> <p>→「全体としてのダウンサイジングになっているが、高度急性期が増加する。阪神圏域全体では、高度急性期は過剰なのでその点が気になる」という意見あり。</p> <p>伊丹市からは「保健医療計画では、『阪神北準圏域』を定めており、そちらでは高度急性期が不足している。」と回答。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3-3に沿って、川西市より報告。(市立川西病院と医療法人協和会 協立病院の統合再編状況の報告及び重点支援区域申請について)</li> </ul> <p>→「高度急性期がいきなり100床できるが、医師確保の方は大丈夫か」という質問あり。川西市からは、「現在打診中のところから前向きな返事をもらっている。」と回答。</p> <p>(協議の結論) 阪神南圏域としては、申請に了承する。(阪神南の意見も踏まえて阪神北で協議をしてほしい、と議長より伝えた。)</p> <p>○議題4について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4に沿って、芦屋健康福祉事務所より南北合同での合議体の設置(案)を説明し、意見を求めた。</li> </ul> <p>→「公立・公的病院と民間病院とのバランスが悪い(民間病院が少ない)」、「医師会代表は3市全てから入るのが良いが、歯科医師会及び薬剤市会は3市連携しているので、代表市のみで良い。」等の意見あり。</p> <p>(協議の結論) 阪神北の調整会議でも意見を聞いた後、南北の議長一任で、決定する。</p> <p>○議題5について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5-1、5-2に沿って、医務課よりそれぞれの計画案の概要を説明。</li> <li>・2月27日までパブリックコメント実施中。</li> </ul>
次回以降の予定	未定